

第三者評価結果

A-1 保育内容

A-1-(1) 保育課程の編成		第三者評価結果
【A1】	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している	a
<ul style="list-style-type: none"> ・にじいろ保育園の理念や方針に沿った本部作成の全体的な計画をもとに、年度末に職員全体で読み合わせを行い作成につなげている。家庭の状況や保育時間、地域の実態などを踏まえ、安全対策や健康管理についても計画に取り入れている。 ・保育指針の変更により、職員一人ひとりが資料を持ちより学びながら進めており、新しい取り組みなどについても話し合い取り入れるようにしている。 ・年度を4期に分け、年間計画や月案におろし、期ごとに振り返りを行っている。 		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		第三者評価結果
【A2】	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	b
<ul style="list-style-type: none"> ・園内はエアコン、空気清浄機、加湿器などにより快適な温度と湿度に保ち、換気も行っている。 ・園内外の安全点検を定期的に行い、清掃は用務員と保育士が担当し、消毒は看護師を中心に実施している。乳児の保育室と玩具は毎日消毒を行い、幼児クラスも定期的な玩具の消毒や洗浄をしている。 ・保育室内の家具の角には、ぶつかってもケガのないように保護材を取り付け安全に配慮している。子どもの成長に合わせて室内の設定を見直し、遊びのコーナーをつくり遊び込めるように工夫している。室内の環境設定については継続して課題としており、検討を重ねており、より良い環境づくりを目指している。 		
【A3】	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている	a
<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の打合せやケース会議の中で、各クラスの子どもの状況が把握できるようにしており、全体で共有できるように努めている。乳児クラスは個別月案を作成し、子どもの発達合わせた援助ができるようにしている。幼児は生活に見通しが持てるように、ホワイトボードを使用して一日の流れや活動を確認できるように工夫している。 ・子どもが目標を立てたり、意欲をもって取り組めるように一覧表やカードなどを用意している。子どもからの発信を大切に育てられるように、話し合いの時間を設けたり、発表会の役なども与えるのではなく自分で選択できるようにしている。子ども同士で話し合うなど。最後までやりきることができるように援助している。 ・一人ひとりの特徴を捉え、年齢に合わせた言葉遣いができるように職員間で注意し合うようにしている。 		
【A4】	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている	a
<ul style="list-style-type: none"> ・入園時より個人マークを持ち、ロッカーや靴箱などに示し、自分の場所や持ち物をわかるように工夫しており、付けなども出来るように伝えている。2歳児からは汚れたものを自分で専用のかごに入れる練習をはじめ、3歳児ではロッカーの形式が変わるので、朝の支度を保育士と一緒にいき、連絡帳などを決まった場所におけるように援助している。 ・午睡時間は年齢ごとに決まっているが、0歳児は入園当初は個々の生活リズムに合わせて午前にも休めるようにしている幼児は保護者の要望も聞きながら、目が覚めてしまったり眠れない場合などにも静かに過ごすせるように対応している。 ・就学に向けて年長クラスは年明けから午睡をなくし、ひらがな、制作活動などを行っている。担任以外もかかわり、上履きをはいて過ごすことや静かに歩くなど伝えている。 		

【A5】	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している	a
<p>・保育室では年齢に合わせた玩具や絵本を設置し、手に取りやすい高さや場所の工夫をしている。発達に合わせて定期的に保育室の環境や玩具、絵本の見直しを行っている。3歳児より廃材利用も可能とし4, 5歳児になるとさらに自由に様々な制作ができるようにしている。</p> <p>・室内でも身体を使って遊べるように、鉄棒やトランポリンを設置したり、5歳児では一人ずつに縄跳びも用意している。</p> <p>・天候、気候に配慮しながら出来る限り散歩に出かけ、公園での遊具遊びや集団遊び、自然物についても会話に取り入れるように工夫しながらどんぐり、落ち葉などは制作に活用している。散歩の機会にあいさつ、信号など社会的ルールも伝えている。交通安全教室では警察署員の訪問があったり、年長児対象の交通安全教室などにも参加できるようにしている。地域の交流にも参加しており、顔見知りになるきっかけになっている。老人ホームとの交流なども続いていることから、子どもたちも再開できることを楽しみにしている。</p>		
第三者評価結果		
【A6】	A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している	a
<p>・0歳児は月齢に配慮し少人数で保育士がじっくり関わるようにしている。連絡帳と口頭により子どもの様子を細かくやり取りし、保護者と情報共有しながら保育をすすめている。離乳食の進め方、食貝具合なども共有し必要に応じて栄養士、看護師もアドバイスをしている。完全な担当制ではないが、だれでも関わる事ができるように情報共有しながら取り組んでいる。</p> <p>・0歳児室の工夫として、マットを敷いて安全に過ごせるようにしており、つかまり立ちやはいはいなど自由に探索できる環境を整えている。玩具など子どもの興味に合わせて手作り玩具も用意しているほか、廊下など広いスペースでも遊べるような環境である。</p>		
【A7】	A-1-(2)-⑥ 1歳以上3歳児未満の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している	a
<p>・友達との関りが増え、やりとりが活発になることから、ままごとなど保育士が仲立ちし楽しく遊べるようにしている。トラブル、いやいや期など気持ちの変化や子どもの個性についても把握に努め、共有できるようにしている。</p> <p>・コーナーで遊び込めるように、椅子に座って遊べるようになど様々な設定の工夫により、あきずに遊べるようにしている。2歳ではごっこ遊びが盛んになるのでお人形なども多めに準備し、片付けも少しずつできるように援助している。運動遊び、すべり台や跳び箱なども用意し、静と動のバランスを考え発散できるような流れをつくっている。</p> <p>・外部からは、お話し会(毎月)の実施、(現在は中止)園内では看護師、栄養士との関りや園医などと接する機会もあり、事務所も開かれたスペースとしており、絵本を借りに来るなど乳児から自然にできるように援助している。</p>		
【A8】	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している	a
<p>・3歳になると集団での活動や友達との関りが活発になるので、その年度の子どもの興味を把握し遊びや活動に取り組めるようにしている。今年度は、制作活動が盛んなこともあり、はさみを用意して興味をもって取り組めるように、環境を整えている。担任が個々の特性を把握しつつ、クラスで楽しめる活動を考えている。</p> <p>・運動あそびも行い体力がつくように取り組み、徐々に距離のある公園まで歩けるようにしている。4歳から少しずつ子どものやりたいこと、意見などを言えるように様子をみながら見守るようにしている。トラブルになりそうな場合などには、必要に応じて仲立ちをしている。子どもの意見の吸い上げ、言いやすい雰囲気づくりの工夫をしている。</p> <p>・5歳児は就学にむけての自立を大きな課題とし1年かけて取り組んでいる。見通しをもてるような取り組みとして、3歳から時計をみて少しずつ理解できるように伝えている。行事ごとにやりたいことを考えてもらい、提案を取り入れている。振付けなども自分たちで考えられるように、伝え方に配慮している。</p> <p>・本年度は保護者の行事への参加、保育参観などは中止しているが、面談は実施予定である。活動の様子は写真を掲示して伝えている。</p>		

【A9】	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している	a
<p>・建物、設備は変えられないが、ホワイトボードを活用しカードや写真で活動を知らせ、見通しを持って生活できるように配慮しており、月案には個別の指導計画を取り入れ、クラスの活動に無理なく参加できるようにしている。</p> <p>・11月より巡回は再開予定であり、必要に応じて保護者との面談も受付可能としているが、保護者にはリモートで対応も可能と伝えている。</p> <p>・職員は研修などに参加し、研修報告で周知し全員で共有できるようにしている。さらに、地域の案内なども玄関に置いて保護者にも見てもらえるようにしている。</p>		

【A10】	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している	a
<p>・定期的な延長保育利用は少ないが、捕食と夕食は希望により対応しており、捕食は前日でも対応可能としている。コロナ禍のため、乳児は17時を目安に合流、幼児は18時までは各保育室で過ごすようにし18時半より捕食を提供している。</p> <p>・合同保育時間では、ぬりえなど好きなあそびができるように配慮している。職員の手伝い（ごみあつめ、せんたく物たたみ）などを一緒にする子どもも見られている。事務所で絵本をよむ、玄関の図書貸し出しコーナー（2週間持ち帰り）かぶとむし幼虫、めだかを見に行くなど、人数が少なくなると子どもの好きなことを聞いて対応できるように取り組んでいる。</p>		

【A11】	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している	a
<p>・年長児の月案には、就学にむけてのねらいを定め、生活リズムを整えたり小学校にむけて意識が持てるような取り組みを取り入れている。ただし、本年度はコロナ禍にあり、小学校への訪問、交流などは中止となっている。</p> <p>・保育所児童要録は担任が年度末より取り掛かり年明けには作成できるように取り組んでおり、園長に確認してもらいながら完成につなげている。近隣小学校へは直接届ける、または郵送の場合もあり、要録を郵送後に小学校担任に引継ぎをする機会もあるため、要録に書ききれない内容などについて（同じ保育園の子どもと同じクラスにする、声が届くように先生の前の席にしてもらうなど）必要な情報を引き継ぎしている。要録は希望があれば保護者に開示することも可能としている。</p>		

A-1-(3) 健康管理

【A12】	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている	a
<p>・年間保健計画を作成し、年齢ごとに保健指導を実施している。健康教育では、熱中症についてを幼児3クラスにむけて一クラスずつ実施した。</p> <p>・看護師は朝や午睡時間に各クラスを巡回し子どもの健康状態について確認し、連絡帳も都度確認するように努めている。ケガや熱などがあった場合には、確認し事務室で対応し、保護者に対しては体調不良の子どもについて説明などを行っている。担任を介して保護者から相談等を受けることもあり口頭や連絡帳などで対応している。</p> <p>・毎月、保健だよりを作成し、季節に応じた注意事項、感染症、子ども健康についてなどを保護者に伝えている。</p>		

【A13】	A-1-(3)-② 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している	a
<p>・健康診断と歯科健診を年2回実施し子どもの健康管理に努めており、健康カードに結果を記入して保護者に渡し職員も結果を共有している。歯磨き指導は各クラスで行い、仕上げみがきはしていないが（コロナ禍）磨き方を伝えるようにしている。歯科検診のときに通常は指導も行うが本年度は中止している。今年度中に乳児にむけても手洗い指導を実施予定であり、わかりやすく伝えられるように計画中である。</p>		

【A14】	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている	a
<p>・アレルギー対応ガイドラインにもとづき、個別の面談を行い個々に応じた対応をしている。食物アレルギー児の対応があり、医師の指示に従い懸鼓管理表に基づき給食の提供をしている。保護者には翌月のメニューを掲示し確認のうえサインしてもらっている。</p> <p>・新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、熱の確認、手洗い、消毒、については子どもだけでなく職員に対しても実施している。感染症対策、内容、症状、潜伏期間などを詳しく掲示し、発症日も知らせることで、熱や症状などを早めに把握できるように配慮している。園内の消毒、玩具の消毒に努め、咳エチケットについては個別に伝えている。体調不良の場合は無理せず早めに休むように伝えている。</p>		

A-1-(4) 食事

第三者評価結果

【A15】	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫している	a
<p>・栄養士は昼食とおやつ時間にクラスを巡回し、喫食状況を確認しており、土曜日は子どもと一緒に食事をとるようにしている。子どもの喫食状況を確認したり、好き嫌いを訪ねたり、食材について話すなど子どもとコミュニケーションをとりながら楽しい食事時間となるように配慮している。また、姿勢、食具持ち方については保育士とともに指導にあたっている。</p> <p>・嫌いなものについては、少なめによそなどの配慮をして完食できるように配慮している。食べにくい食材などについては、給食会議でも話しあい、出し方について検討している。</p> <p>・クッキングは現在行っていないが、クイズ方式で自分で磁石ではることができる三色ボードを作り、幼児にむけて三色栄養群について伝えたり、味噌づくりの紙芝居（味噌づくりができないので）、牛乳ができるまで、おさかなについてなど、子どもの興味に合わせた食育活動を多く実施している。屋上で栽培活動を行っており、夏野菜（ピーマン、プチトマト、ナス）の種まきから水やり、収穫までを幼児中心に体験することもできている。</p> <p>・毎月の給食日より、レシピをサンプルケース横において配布するなど、食事に関する取り組みを保護者に伝えている。</p>		

【A16】	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している	a
<p>・月1回、給食会議を行い、毎日の残食状況の確認や食べにくい食材などの把握に努め、献立作成や調理方法の参考にしている。</p> <p>・本社作成の献立を使用しているが、行事食、誕生日会は園で考えて子どもの思い出になるような楽しい行事食を提供できるように工夫している。素材の味を大切に薄味にすることや、季節感、見た目も形や彩りなどで美味しく見せるように配慮している。恵方巻、ひな祭り、こどもの日、ハロウィン、クリスマス、鏡開き、七草がゆなど、それぞれの行事では、由来や意味を絵本などで分かりやすく知らせて食事を楽しみにできるように取り組んでいる。栄養士は子どもが笑顔になること、自由に楽しく食べてもらえることを目標に、給食づくりを行っている。</p>		

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携

第三者評価結果

【A17】	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている	a
<p>・今年度はコロナ禍にあり、懇談会は中止しているが、配布予定の書類はさらにわかりやすい工夫を加えて保護者に渡している。園だより、クラスだよりでも毎月の保育のねらいや活動内容、予定や持ち物などについて伝えている。</p> <p>・玄関に「今日の保育」として各クラスの活動内容を掲示し、送迎時に保護者に見てもらえるようにしている。</p> <p>・保育参観では、通常は幼児クラスの保護者は保育室に入ってもらうが、乳児クラスでは室内に入らずに、保育園での姿を見てもらえるように工夫している。1週間の期間を設けて希望日を選択できるようにし、散歩、制作、体操教室など保護者の見たい保育の様子が見られるようにしている。個人面談は事務所で、担任、園長、主任など必要に応じて対応し記録に残している。</p>		

A-2-(2) 保護者等の支援

【A18】	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている	a
<p>・日々の送迎時には、必ず保護者に声をかけるように努めており、子どもの様子を共有するようにしている。保護者とのコミュニケーションを大切に考え、相談しやすい雰囲気づくりができるように取り組んでいる。子育ての悩みなどについても相談に応じ、相談内容によっては、園長、主任などが同席する体制づくりもしている。今年度は保護者の声をうけ、運動会は年長クラスの保護者のみ見ることができており、保護者の思いに寄り添った対応を心がけている。</p>		
【A19】	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている	a
<p>・朝の視診では、子どもの状況や保護者の様子も確認し、気になることや心配なことなどがあれば声をかけ、状況を把握できるように努めている。必要に応じて面談を実施。職員間で共有し保護者支援に努めている。</p> <p>・虐待等が疑われる場合は、速やかに園長、主任に報告し指示を仰ぐように周知している。また、気になることがあれば職員会議やミーティングで全体に周知している。</p> <p>・にじいろ保育ガイドでは虐待についてのマニュアルとフローがあり、年度初めには読み合わせを行い意識を高めるようにしている。園内研修では危機管理として対応手順などについて確認できるようにしている。</p>		

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

第三者評価結果

【A20】	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている	a
<p>・成長支援共有シートを活用し、4月に個人目標を立て12月に振り返りと自己評価を行う流れとしている。目標に対する振り返りを行うことで、大切にしたいことを意識し向上心につなげることができている。日々の活動内容に対する評価は日誌、週案、月案、期の振り返りを行い、次年度につなげるように取り組んでいる。園の振り返りとして実施する自己評価では、それぞれの意見をまとめている。</p>		